

会員の皆様、

CCBJ主催の忘年会にご出席いただき、ありがとうございました。皆様からのご支援に感謝し、新年の誓いを立てる機会となりました。忘年会には

オタヴィオ・コルテス駐日ブラジル大使や、外務省の野口泰中南米局長、駐日ブラジル大使館通商部のチアゴ・ポッジオ・パドゥア参事官にもご出席いただきました。ご参加いただきました会員の皆様、並びにゲストの皆様にも感謝申し上げます。

今月号は今年最後のニュースレターとなります。日本とブラジルの経済関係はエタノールを巡る動向により今後さらなる強化が期待されます。先日も日本の航空産業にブラジル産エタノールを活用するための輸出実現に向けたイベントが開催されました。両国政府は脱炭素化の点で意見が一致しています。

今号では、日本で外国法事務弁護士として活動する資格を承認された早田光太郎アントニオ弁護士にご寄稿いただきました。

その他にもバイオ燃料やブラジルの港湾施設への投資、CCBJ会員向けのブラジル銀行の優遇特典に関する記事も掲載されています。

それではどうぞよろしくお願いします。

Happy New Year!!

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

日本での弁護士としてのキャリア

早田光太郎アントニオ氏
外国法事務弁護士

2023年8月1日の官報に、私の外国法事務弁護士資格承認に関する法務省の告示が掲載されました。2023年10月2日には、日本弁護士連合会（日弁連）と東京弁護士会に正

式に登録され、日本に487名いる（2023年11月1日現在）外国法事務弁護士の一人となりました。

日本で弁護士となることを決意して以来、計画、準備期間を経て実現までに丸々5年の月日がかかりました。

2018年7月31日、出張先でニコラ・フロレンザーノ・ネット弁護士（岐阜県可児市在住）に会う機会に恵まれました。同氏から「外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法」（1987年制定）に基づき日本で取得した外国法事務弁護士の資格や仕事内容について話を伺い、自分も再び法律分野に関わる業務に携わる可能性があることに気づかされました。

しかし、日本とブラジルでは裁判や法律が異なるため、さらに知識を深める必要がありました。そんな時、関東地方の法廷通訳者ルイス・ナカノ氏の寄稿文を目にしました。そこには、原告であれ被告であれ当事者に法的保護を求める声を表明する機会を与えるという観点から、司法手続きにおける法廷通訳の必要性とその役割について書かれていました。

そこで私は、2020年に日本司法通訳者連合会主催の司法通訳養成講座を受講し、2022年には東京外国語大学と青山学院大学共催の司法通訳養成講座も受講し、司法通訳の分野に専念することを決意しました。

また、日弁連や慶應義塾大学など日本の法科大学院が主催するセミナーや会議にも参加し、ブラジル人の大学教授や法科大学院生と知り合う機会を得ました。

ルイス・ナカノ氏とルイス・ヨシダ氏（愛知県在住の法廷通訳者）から伝授された様々な教えや知識、通訳技術に加え、実務の経験を積むために日本司法支援センター（法テラス）や東京地方検察庁、法律事務所などで法廷通訳としても活動しています。常に私を励まし支えてくださった恩師のマルシア・ヘジーナ・アライ・タヴァレス小柴先生（愛知県岡崎市の弁護士）にも大変お世話になりました。

外国人弁護士資格の申請には、法学士の学位に加え、ブラジルの弁護士協会への登録や法律の知識と経験が求められます。日本には正式に登録されたブラジル人弁護士が6名おり、そのうち4名は日本とブラジルの両国の弁護士資格を持ち、2名は日本国内でのみ弁護士として活動しています。

私や他の弁護士の方々が実現できたことは、他の多くのブラジル人にとっても、意志と適切な指導があれば実現可能だと確信しています。そのためにも、ブラジル人コミュニティのリーダーや行政機関からの支援にも期待しています。

私はサンパウロ・カトリック大学（PUC-SP）法学部を卒業後、サンパウロ大学で経営学修士号を取得し、PUC-SP COGEAEで契約に関する専門知識を学び、IBMEC-SPで金融市場法の法学修士号を取得しました。金融や契約、銀行、プロジェクト管理の分野でキャリアを積み、現在はキョウダイ・レミッタンスに勤務しています。

(経済)

燃料の脱炭素化

ブラジルのバイオ燃料政策であるRenovaBioは、バイオ燃料の生産量を増やし、輸送にかかるエネルギー源に占めるバイオ燃料の比率増加を奨励するため、燃料部門における脱炭素化目標を毎年設定することを主な施策のひとつとして掲げています。

燃料販売業者には、バイオ燃料製造プロセスが認定されると、排出量に関して達成したそれぞれの効率レベルを基に定められた個別目標が課せられ、脱炭素化クレジットを購入することでその目標を遵守したと証明することが求められます。

詳細はこちら：<https://www.gov.br/anp/pt-br/assuntos/renovabio>

出所：国家石油・天然ガス・バイオ燃料監督庁（ANP）

ブラジルの港湾施設に10億リアル規模の投資

サンパウロで13日に開催された港湾施設の入札では、ブラジル国内の港湾5施設の運営権が落札されました。投資額は9億6600万リアルに上ると見られます。今回の入札では、パラナグア港のPAR09、マセイオ港のMAC15、リオ・グランデ港のRIG71、ポルト・アレグレ港のPOA02とPOA11の5施設の運営権が落札されました。

詳細はこちら：<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202312/leilao-garante-quase-r-1-bilhao-de-investimento-em-portos-brasileiros>

出所：港湾空港省

(CCBJ)

CCBJとブラジル銀行の業務提携

ブラジル銀行在日支店は、在日ブラジル商工会議所(CCBJ)とその会員との関係のさらなる強化に向け、CCBJと協定を締結しました。その協定により、ブラジル銀行の口座を保有するCCBJ会員（個人および法人）向けに様々な特典が用意されています。

詳細はこちら：

<https://www.bb.com.br/site/japao/parcerias/ccbj/>